

「設置場所の注意」 良く読んで頂き設置場所の確認をお願い致します。

御礼 当社(株)アイエール電器のカタログを御覧頂き有難う御座います。

お買い上げの前に設置場所の注意点を必ずお読みください。

確認1. ソーラーパネルを真南向きに設置できますか？

2. 直接ソーラーパネルに太陽が当たりますか？

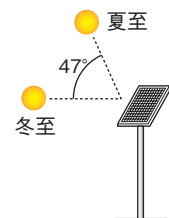
1. ソーラーLED外灯は太陽光をエネルギー源とした製品です。
十分に直接太陽光が当たる場所を選んで頂き設置をお願いいたします。
太陽が当たる必要時間は機種によって異なります、又陽射しの強い季節と弱い季節とは異なりますがおおよそ5時間以上を基本として設計されています。
*陽射しの強い午前9時～午後3時までの時間帯が高効率的です。

確認3. 冬の季節でも大丈夫？

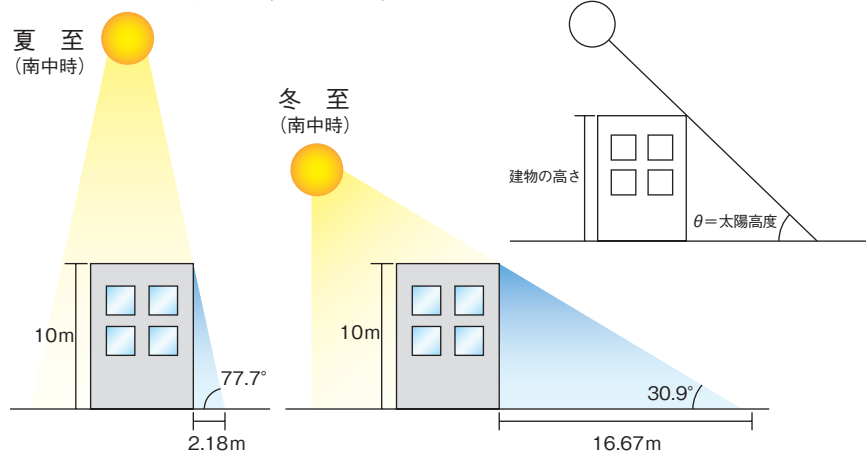
2. 冬至の季節は太陽の角度が下がりますので、ビルの高さや建物の高さ、樹木の高さ、看板の高さ、石垣などの日陰にならない様な場所を選んで頂き設置をお願いいたします。

■各都市の南中高度

	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	福岡	鹿児島	沖縄
夏至	70.4°	75.2°	77.7°	78.3°	78.8°	79.0°	79.8°	81.8°	87.3°
冬至	23.6°	28.3°	30.9°	31.4°	31.9°	32.2°	33.0°	35.0°	40.5°



■高さ10mの建物の影の長さ (例：東京)



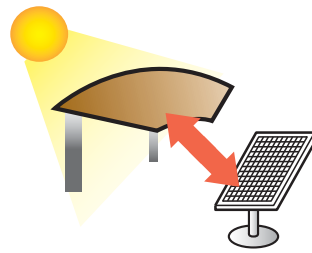
3. ソーラーパネルは必ず南方向に向けてください、真南方向正午12時方向が効率が良いです。
*真南を100%とした場合 南東、南西・90%
4. たとえ部分的であっても太陽電池がかくれる状態では発電量が低下します。
例えば、泥、鳥の糞などで汚染されると発電量は低下します。
*清掃をお勧めします。
5. ソーラーLED外灯を設置する場所の直ぐ近くに外灯(照明)などが有りますと点灯しない場合があります、誤作動。(外灯の灯かりで昼間と検知しているため)
6. 樹木の枝等が伸びてきて日陰にならない場所を選んで設置してください。
南側に建物を建てる予定がある場合は日陰にならない場所を選んで設置してください。

■ ソーラーシステムにとって日陰は大敵!!

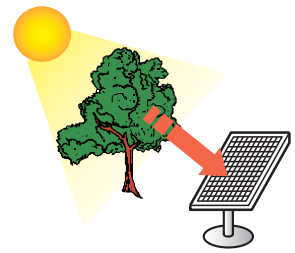
●日照(日当たり)の考え方

晴天時に直射日光の当たる場所の日射量を100とすると…カーポート(屋根材ブラウン)を透過した光では約1/2、木陰などの日陰では1/20以下に減少します。これは曇天、雨天時の発電量より少ないのです。

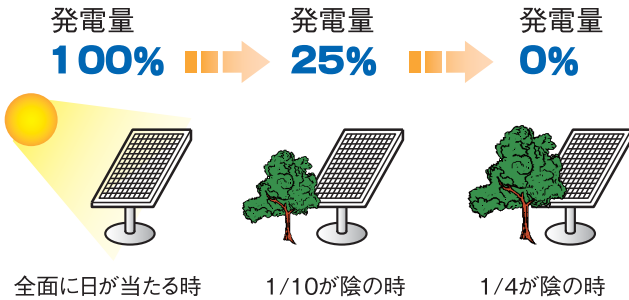
日陰は夜と同じ、と考える必要があります。



日射量
約**1/2**



日射量
約**1/20**以下

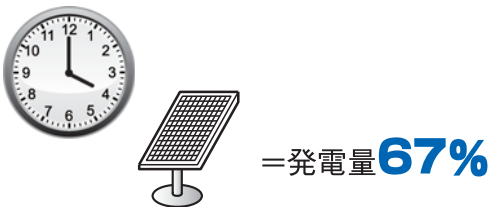


●発電効率と陰の影響

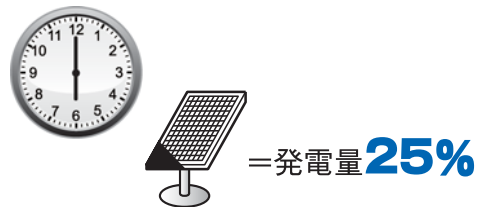
晴天時にソーラーパネル(太陽電池)全面に直射日光が当たった時の発電量を100とすると…パネルの1/10が陰になった時で約1/4の発電量に、パネルの1/4が陰になると発電量はゼロに近くなります。パネルに少しでも陰がある時は、日が当たっている時間とは考えられません。

例 ソーラーパネル全面に6時間直射日光が当たる場所の発電量を100とすると…

例:1 パネル全面に日が当たる時間が4時間しかない場所



例:2 パネルの1/10が陰になる状態が6時間ある場所



となり、**例:2**は極端に少なくなり設置場所に適しません。